

井阪津市防火協会名誉会長が安全功労者消防庁長官表彰を受賞



荒木消防庁長官から表彰状の贈呈を受ける
井阪津市防火協会名誉会長

平成十九年度安全功労者消防庁長官表彰式が、総務省消防庁主催で、去る七月六日に東京都港区虎ノ門パストラルホテルで開催され、津市防火協会名誉会長の井阪彬祐氏が昨年の吉川晴津市防火協会会長に続き、安全功労者表彰として、荒木慶司消防庁長官から、表彰状が贈呈されました。本年度は県内から二名の方が受賞されました。井阪名誉会長は、昭和六十一年十月に設立された旧久居地区危険物安全協会の理事、副会長を歴任し、平成十三年四月より会長に就任し、当協会の発展に多大な功績を残すことも

職場防災に生かせ！

津市防火協会が 新任者研修を開催

に、平成十八年一月には、近隣十市町村の合併に伴い、新津市防火協会の名誉会長の要職に就任されました。当協会は、さまざまな防火防災研修会などを開催し、事業所等における災害の未然防止や火災予防の啓発を行い、会員の資質向上と防災意識の高揚にも取り組まれ、また、消防本部主催の行事等にも積極的に協力されています。なお、本年度の消防庁長官表彰は、全国で個人二十三名と十五団体が受賞しました。

津市防火協会（吉川晴会長）は六月二十七日、久居野村町の久居体育館で新任者研修会を開催し、同協会の加盟事業所の新規採用職員や防災関係新任職員が消火器や屋内消火栓の使い方、また、救命講習などを学んだ他、煙体験ハウスでの避難や救出訓練を行いました。



煙体験ハウスからダミー人形を救出する新任職員
(6/27 久居体育館＝久居野村町)

本年の研修には、市内の二十八年事業所から七十二名が参加しました。屋内の火災を想定した煙体験ハウスでは、二人一組で協力して、逃げ遅れたダミー人形を屋外へ救出する体験や普通救命講習会では、久居署の救急救命士らの指導のもと、人工呼吸や胸骨圧迫、また、AED（自動体外式除細動器）の使い方などを真剣に学んでいました。

参加した新任職員は、「緊急時に役に立つよう、自己研鑽に努めます。」と力強い口調で答えていました

火は見える

あなたが離れる その時を

平成十九年度全国統一防火標語

大地震

日頃からの
備えが大切です

一志分署

一志分署では、七月八日に一志町波瀬の川原出集会所にて、同自治会（今西隼夫自治会長）五十八名を対象に地震災害への備えや住宅用火災警報器の設置促進の座談会を開催しました。

講話の中では、東海・東南南海地震が危惧される中、「地震は日頃からの備えが大切です。日頃から備えを万全にして下さい。」と署員が講話しました。

また、この機会をとらえて、住宅用火災警報器の設置促進が行われ、住民は住宅用火災警報器の重要性を再認識していただきました。



川原出自治会の住民に住宅用火災警報器の重要性を指導する一志分署員

今後、このような座談会が各地で開催される予定です。

消防情報 津消防タイムズなど消防関係ページは、津市ホームページアドレスは下記に表示のトップページ生活情報の消防情報からご覧下さい